



すべての視力障がい者に福音を！ キリスト教良書を！

2013年10月

ホ・ロゴス 50号



ὁ λόγος

ホ・ロゴスとは、ギリシャ語で「言葉」という意味。英語に言い換えると「The Word」このタイトルは、静岡盲人伝道センター広報誌第2号（1969・11月発行）から使われ、ヨハネによる福音書の冒頭「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。」から引用。視力に障がいを持つすべての人に福音を、という熱い祈りが込められています。



維持会員募集中！

当センター事業の維持・継続のために、皆さまのご参加をお願いしています。維持会員への加入は、1ヵ月一口100円から受け付けます。詳しくはセンターへお問い合わせください。

よろこびの秘訣

（マルコ2：17）

新垣 勉（歌手・全盲）

ある町に二組の有名な家族が住んでいました。一組は、その家の前を通ると、耳にするのは争いの声。また、もう一方は、これまた反対に、いつも笑いの絶えない明るい家庭でした。誰もがその家の前を通ると、あんなふうになりたいね、その秘訣を知りたいものだと思ったそうです。

この明るい笑いの絶えない家のことが、争いばかりしている主人の耳に入りました。「どうしてあの家では争いがなくて、いつも明るく笑いが絶えないんだろう、行って秘訣を教えてもらおう」そこで早速、訪ねたのです。争いのない笑いのあふれる家の主人はびっくりして「秘訣なんてありませんよ」「イヤ、そんなことはない、何か秘訣があるはずだ」としきりに聞き出そうとするものですから、とうとうその主人は答えたそうです。

「いや、そんなに難しいことはありませんよ、私の家には悪人ばかりが住んでいるのです」争いばかりしている家の主人はびっくりして「何ですって、悪人が住んでいるんですって？冗談でしょう」「では、うちのことを話しましょうか」といって話しました。



たとえば、妻が部屋の真ん中に湯飲みをおいて、私が誤って割ったとします。すると妻が「あら、ごめんなさい、私、湯飲みをここにうっかり置いてしまって、ごめんなさい」と言ったそうです。すると主人は「なにになに、僕がちゃんとそこを見て歩けばよかった。俺が悪かったよ」「何をおっしゃるの、あなた、私がかちゃんと片付けておけばよかった」お互いに私が悪かった、私が悪かったと言うのだそうです。そういう風に、みんなが悪人なので、争いがないのです、と言ったそうです。

そして最後にこのご主人は尋ねてきたご主人に言いました。「もしあなたが、私の家族に争いがない秘訣を聞きたいというのなら、その秘訣は、失礼ながら、私の家は悪人だらけ、悪人が住んでいるけれども、ひょっとしてあなたの家には善人ばかりが住んでいるのではないですか」…。



静岡キリスト教盲人伝道センター広報誌「ホ・ロゴス」第50号 2013年10月発行

発行人：青山昭一郎 印刷：おふいすめぐ

発行：静岡キリスト教盲人伝道センター

〒422-8041 静岡市駿河区中田一丁目5-21

Tel 054-285-0496 Fax 054-285-0746 振替 00870-2-7003

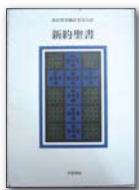
Eメール：shizumouden@mail.wbs.ne.jp HP：http://www.dct7.net/

開館時間：祝日等を除く月曜日から金曜日、午前9時～午後5時

センターはこんな働きをしています！

トピックス

■ 推薦図書



『新約聖書』岩波書店発行
傍注と用語解説がつき、原典への厳密な忠実さと評判です。多くの方からリクエストをいただき、点訳が完成しました。(全27巻)



『使徒言行録講解』(1～5巻)
榊原康夫著 教文館発行
日本キリスト改革派東京恩寵教会牧師として、明晰な聖書講解を続けてこられた榊原先生の最新刊。1巻から音訳・点訳に取りかかっています。ご期待ください！



『文語訳聖書』
日本聖書協会発行
新しい編集が完成しました。なめらかな文語体の聖書は、とても人気があります。点訳・音訳共にご利用の多い図書です。

■ 表彰

森喜三子さん、山内満智子さん(犬山虹の会)が、鉄道弘済会・音訳者表彰で奨励賞を受賞されました。感謝！

■ お知らせ

◆ 当センターでは「センター交わりの会」と「デイジー編集講習会」を各地で行っています。5月には、神戸(新港教会)で開催しました。今後も各地で開催する予定です。ぜひ、ご協力ください。

◆ 初心者のための「点訳パソコン通信講座」を始めました。希望される方は、お問い合わせください。

静岡盲人伝道センターはキリスト教図書専門の点字図書館です。当センターでは、視力に障がいのある方、また高齢や病気などのために読書が難しい方々のために点字図書、録音図書の製作と貸し出しを行っています。

今、人気です！

日々の信仰を支える月刊誌

あふれる情報化社会のなかで、どうしても遅れがちな視力障がいを持つみなさんにとって、ニュース満載の月刊誌が今、人気です。ボランティアグループのみなさんのご協力もあって、今回は、盲伝製作の月刊誌をご紹介します。

『百万人の福音』(いのちのことば社発行、月刊誌)録音盤製作ボランティア:犬山虹の会(広告・クロスワードパズルも含めた全文音声版です。)

『信徒の友』(日本キリスト教団出版局発行、月刊誌)録音版製作ボランティア:関西の個人音訳者(抜粋版)点字版製作ボランティア:点訳グループ木曜会(愛知県岡崎市)。

その他『リジョイス 主にある喜び』日々のデボーション(改革派教会)『キリスト新聞』(キリスト新聞社)『いのちのことば』(いのちのことば社)『オーブライフ』(BFP ジャパン)『ちから』(TPKF 発行)『リバイバル・ジャパン』(地引網出版)『幸いな人』(小牧者出版)『クレイ』(ハーベストタイムミニストリーズ)など。



月刊誌の発送作業をするスタッフ

音訳初級講習会を開催しました

盲伝では、ボランティアを養成するため、各地で講習会を開催しています。今回は、名古屋地区で開催しました。こんな感想が受講生から、寄せられました。

「大学時代演劇部で朗読するのが好きだった」というほんの軽い気持ちで受講したのですが、『ボランティアの条件』から講座が始まり、初日でその軽い思いは砕かれました。音訳は朗読ではないこと、

自分の生きがいのためではなく、聞き手のために、結果として生きがいとなること、等々。回を重ね、ただ文章だけでなく写真や図、表なども声に置き換えるということの難しさを感じていきました。まだスタート台に立ったばかり。根気よく音訳の奉仕が出来るようになりたいと願っています。(豊明教会 服部紀美)

今回音訳講習会に参加する機会が与えられましたこと、主のお導きと感謝します。夫の父が盲伝で大変お世話になっていること、義妹が盲伝で音訳奉仕をしていたこと。私自身も10年前、二男が召された後、このまま閉じこもりの生活をしてはいけないと、生来の怠け者のアナログ人間。パソコンは家族任せでいますので、講習中から皆さんにご迷惑をおかけしての私でした。何とか今回は、一歩でも前進をしたいと思います。(岐阜加納教会 内田由美)



修了証を手に、右：服部さん 左：内田さん

TANAKA TOSHINOBU

田中 敏信 牧師 (センター理事)

渴かない水をあなたに！

私は現在、栃木県の矢板市で、ホーリネス教会の牧師をしています。イエス・キリストを信じて洗礼を受けたのは、31年前でした。

その当時は、牧師になるなどとは、微塵も考えていませんでした。逆に、洗礼式の前に、牧師に念を押したほどです。「先生、まさか将来、牧師になりなさい、などと、おっしゃらないでしょうね。そんなつもりは、ありませんからね」と。そして、答えは「ああ。私は、そんなことは、絶対に言わないよ。安心して洗礼を受けなさい」

当時、私は、はりとマッサージの仕事をしていました。イエス・キリストの救いにあずからせていただき、暮らしても仕事も楽しくなりました。神様のみ前で、私の罪は赦され、天の御国での永遠の命を約束していただきました。そこでは、見えない目も『命の木の葉』(ヨハネ黙示録 22 章 2 節)によって、いやされるのです。こうして自分の問題が解決し、他の人の困難に、心が向かうようになりました。その結果、肩や腰の痛みも、治すことができるようになりました。この仕事はとても楽しい仕事でした。



田中牧師と家族のみなさま



そんなある日、首と肩にひどい痛みがある人を、訪問して治療していました。治療時間が 40 分ほど経過し、首と肩の痛みが、ほぼなくなったころです。その人に、電話がかかって来ました。会社からの電話らしく、取引先との間になにか問題が起きているようでした。緊迫した電話での対応が終わり、治療を再開。

ところが、です。首と肩の筋肉が、40 分前のかたさと痛みに戻りしてしまいました…。

私の心に、一つのみ言葉が浮かびました。「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう」(ヨハネ福音書 4 章 13 節) 気がつきました。私の仕事は、またかわいてしまう水のようなものなのだ…。私が生かされている、かわかない水を伝えなければ！と。

牧師としての働きの中で、いちばん楽しいこと。もちろん、イエス・キリストの福音を信じて救われ、その人が変えられていく様子を拝見させていただくことです。そして、ひそかにもう一つ。

毎週日曜日の朝、礼拝を献げるために、皆で集まります。まず賛美歌から始まります。小さな声で、重々しい声で。祈り、賛美歌、聖書朗読、説教…と続きます。最後の賛美が献げられる時…賛美歌の音が、それは美しく輝くのです。声が大きくなったのではありません。うまく歌えるようになったのでもありません。ハーモニーが整ってきたのでもありません。

賛美の声の上に、一つの火がともされたように聞こえるのです。み言葉によって光がともされ、命の水がきらめいているように聞こえる…。

これを読んでおられる皆さんの教会も、日曜礼拝の最後の賛美、同じでしょうね。



得ることの多さに感謝

音訳奉仕 村山 純子 (横浜市)

私が「つのぶえ」を朗読することになりましたのは、今は亡き母に頼まれたからでした。本を読むのが好きなだけで、訓練を受けたわけでもないので、「どうかな」と思いましたが、「気楽にやればいいよ」という一言につられて、今日までやってきました。その間には録音機がよくなくて、お聞き苦しいことも多々あったことと思います。最近ではなるべくゆっくり読むことを心がけてはいるのですが、だんだん速くなっているのではないかと心配しています。何かございましたらお知らせください。私自身も声を出して読むことによって勉強になったり、心に沁みたり、かえって得ることの多さに感謝しています。特に、3.11の東日本大震災の後にはたくさんの声が寄せられていて、心が痛みました。今もまだ終わっていないということがよく分かります。私も今年は70歳になります。いつまで出来るか分かりませんが、出来る限りは続けていきたいと思っています。



みこころのままに

利用者 岡田 孝子 (北海道)

いつもセンターの皆様が心をこめて録音して送ってくださる「百万人の福音」や「ちから」、また教会の説教テープを聞かせていただいて本当にありがとうございます。昭和7年生まれ、今年81歳になりました。5年前に夫が天に召され、それから一人暮らしをしています。娘が二人おりますが、下の娘が車で5分位の所におりますので、毎日のように来てくれ、週に1.2回は家を開放しての家庭集会和、一人暮らしのため来やすいのか友達もよく訪ねて来てくれ、一日があつという間に過ぎていきます。昭和32年に結婚しましたが、半年して何の前触れもなく右目の視力が落ちました。網膜剥離でした。当時は治療法も薬もまだ良いものがなく、札幌に出て、研究を

しておられた先生の所で手術を受けましたが、右目は完全に視力を失いました。でも日常生活には不自由を感じていませんでした。二人の娘を授かり、子育ての時には視力がありましたのでありがたかったです。娘が小学生の頃に、左目も症状が出て入退院を繰り返しましたが限界でした。お医者様も尽力くださいましたが、家族の前で「医者でありながら、よく出来ず、申し訳ありません」と深々と頭を下げ涙されたことは忘れられません。

その時は私も辛かったのですが、今思えば、家族はもっと辛かっただろうと思います。退院後、毎日一人で置き去りにされたような辛い気持ちでいましたが、その頃、以前に娘の小学校の担任だった先生が尋ねて来てくださいました。その先生はクリスチャンになって、盲人の教会に通っておられました。新しいテープレコーダーと羽鳥先生の「世の光」のテープを幾つか持って来られたのです。そこで、私は生まれて初めて聖書の神様を知ることになりました。そして天地を造り、いのちを与え、今も生きて支配しておられる本当の神様のことを、その時すぐに理解できたのです。神様は一人一人を愛して、一人一人のためにご計画を持っておられることを知り、ご自身のご意思によって私たちが生まれてきたことも分かりました。

それから、子どもたちと教会へ通うことが楽しく、喜びでした。私の通う森町福音キリスト教会は、最初は10人位で畳敷きの部屋で礼拝をしていましたが、3回建て替えて今では2000坪の土地に体育館と保育園を備えた教会となりました。どちらかと言えば若い方が多く、若い方は都会へ勉強や就職等で出て行きますが、そのように育て送り出す教会ですから、喜んで捧げ、大きな祝福の中にあります。

今年の春、姪が救われ、バプテスマを受けました。神様の約束はこのように実現していくのです。これからも、今日一日、何が起るかわからないこの頃ですが、与えられる時間を悔いのないように生きて行きたいと思います。



センター便り

いつも、盲伝センターを覚えてお祈りくださり、ありがとうございます。

◆ 静岡盲伝センターでは、音訳・点訳に携わってくださるボランティアを募集しています。ボランティアの内容は、音訳、点訳、パソコン取り込みや校正などいろ

ろです。ご自宅のパソコンで出来る作業です。詳しい資料をお送りします。いつでもお問い合わせください。

◆ 2013年、東日本大震災の復興も福島原発もまだまだ収束しそうなもないのに、異常気象が続き、各地で思いもかけない集中豪雨に見舞われました。みなさまの地域は大丈夫でしたか。どんな時も私たちを支えてくださるのは神さまです。良い時も悪い時も神さまに祈りつつ歩みましょう。(S)